

## 第4回ウランバートル日モ国際シンポジウム

# 20世紀におけるモンゴル諸族の歴史と文化

### 開催趣旨

---

20世紀、さまざまな挑戦を受けながら、モンゴル諸族の政治、経済、社会、文化は、おおきな犠牲をはらいながらも、長足の発展をとげてきました。一方で、近現代のモンゴルは、日本、ロシア、中国と、緊密で、複雑な関係を持っており、こんにちのモンゴル世界は、まさに、極東地域をめぐる国際勢力の再編のなかで形成されたものです。

本シンポジウムは、中央アジア、北東アジア社会の複雑な歴史状況を視野に入れながら、新たに発見された文書資料や、記録されたオーラル・ヒストリーなどに基づいて、国境をまたぐモンゴル諸族はどのようなプロセスを経て現在の状況にいたったのか、近代化への道をあゆんだモンゴル人は何を模索し、どのように激動の時代を乗り越えてきたのか、モンゴルを通じて何がみえるかを検討し、その経験や教訓、遺産に、広い視野から、とりわけ歴史と文化の両面からアプローチし、特色ある議論を展開することを目的としています。

皆さまのご参加を、心からお待ちしております。

2010年12月吉日

実行委員会委員長

今西淳子（関口グローバル研究会代表）

D. シュルファー（モンゴル科学アカデミー国際研究所副所長、博士）

## ■第4回ウランバートル日モ国際シンポジウム

### 「20世紀におけるモンゴル諸族の歴史と文化」

主催： (財)渥美国際交流奨学財団関ログローバル研究会(SGRA)  
モンゴル科学アカデミー国際研究所

後援： 在モンゴル日本大使館  
モンゴル・日本人材開発センター  
モンゴル諸族の歴史と文化研究会  
イフ・ザサグ大学国際関係学院

- 議題： 1. モンゴル諸族が20世紀にあゆんだ道：その経験、教訓と遺産  
2. モンゴルの政治、経済、文化：日本、ロシア、中国との関係の視点から  
3. 伝統の継承と近代化への道：モンゴル人の模索と曲折のダイナミズム  
4. モンゴルの経験から何がみえるか：未来への提言

■日程：2011年8月16(火)～18日(木)

\*参加登録：8月15日(月)16:30～17:00時、モンゴル・日本人材開発センター

\*開会式・基調報告：8月16日(火)9:00～12:00時、モンゴル・日本人材開発センター

\*会議：8月16日(火)14:00～18:00時、

17日(水)9:00～12:00時、14:00～18:10時

モンゴル・日本人材開発センター多目的室

\*8月18日(木)、草原への旅行

■会場：モンゴル・日本人材開発センター多目的室、セミナー室(モンゴル国ウランバートル市)

<http://www.japan-center.mn/indexjapan.htm>

■参加者(予定)：

発表者は日本、ドイツ、中国、ロシア、アメリカ、イギリスなどの国からの研究者約16名とモンゴル国からの研究者約16名。オブザーバー40名。

■プログラム：

8月15日(月)16:30～17:00時、 受付、参加者登録

8月16日(火) 9:00～12:00 開会式、基調報告

14:00～18:00 報告

18:30～20:00 招待宴会

8月17日(水) 9:00～12:20 報告

12:30～13:30 昼食

14 : 00～16 : 50 報告  
17 : 00～18 : 10 ディスカッション、閉会式  
19 : 00～20 : 00 招待宴会

8月18日(木) 09 : 00～16 : 30 草原へ

■参加費 : US\$300

登録費、宿泊費(8月16日から3泊)、食費、資料費などの諸費用を含む。参加登録時に現金(USドル)で納入。

■発表規程 :

	使用言語	長さ	締切	提出方法
発表要旨	モンゴル語、英語、日本語。英語以外の場合は英語要旨も添付する。	A4紙で1ページ程度(約40行)	7月2日(土)	Eメールに添付して送付 huselbq@yahoo.co.jp または、Fax 81-(0)3-3943-1512
論文	モンゴル語、英語、日本語。	A4紙で15ページ以内	7月30日(土)	Eメールに添付して送付 huselbq@yahoo.co.jp または、Fax 81-(0)3-3943-1512
配布資料	モンゴル語、英語、日本語。	自由	8月16日(火)	30部印刷して持参し、受付時に受付係に渡す

\*使用フォント : 英語、モンゴル語は Times New Roman (12 P)。日本語は明朝 (10.5 P)。

\*発表の際、プロジェクターをご使用する方は、8月15日(月)までにデータをメール添付で送付。

■参加申し込み :

参加希望者は、添付の申込書に記入し、2011年4月30日(金)までに、下記実行委員会宛てEメールかファックスで申し込んでください。

■連絡先 :

○シンポジウム実行委員会

Tel : 81-(0)3-3943-7612, Fax : 81-(0)3-3943-1512, e-mail: [mongolsympo@aisf.or.jp](mailto:mongolsympo@aisf.or.jp)

○連絡責任者 : ボルジギン・フスレ

Tel : 81-(0)90-9335-5517, Fax: 81-(03)-6228-0928, Email : [huselbq@yahoo.co.jp](mailto:huselbq@yahoo.co.jp)

○モンゴル科学アカデミー国際研究所副所長 : D. ショルフ

Tel : 976-11-318691, Fax : 976-11-322613, e-mail: [Shurkhuu@iis.mas.ac.mn](mailto:Shurkhuu@iis.mas.ac.mn)

## 参加申込書

返信先 : huselbq@yahoo.co.jp または Fax 81-(0)3-3943-1512

1. 氏名 (日本語) :
2. 氏名 (アルファベット) : Dr. Mr. Ms.
3. 所属 (日本語) :
4. 所属 (英語) :
5. 住所 (アルファベット) :
6. 電話番号 :
7. ファックス番号 :
8. Email :
9. 発表しますか?  
はい → 発表テーマ :  
いいえ
10. 到着予定日時 : 2011年8月15日 (月) 時ころ
11. 出発予定日時 : 2011年8月19日 (金) 時ころ

\*到着・出発予定日時は仮で結構です。航空券の予約がとれ次第、実行委員会にお知らせください。ただし、必ず2011年8月6日(土)までにお知らせください。